



11月18日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ
東地申第20号 【大崎運輸区】団体交渉を行う!(その1)

【運転士】

1. 在宅休養時間確保の観点から平日8行路・平日9行路の退区終了時間を繰り上げること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組 合

- ◆職場から意見はあがっていないのか。
- ◆トレースは誰とやっているのか明らかにすること。
- ◆単独の行路がネックになっている。何故このような設定なのか明らかにすること。
- ◆もう少し早めに設定すること。

会 社

- ◆職場とトレースを行ったが、在宅休養時間が少ないという意見はあがっていない。
- ◆計画副長とトレースを行っている。
- ◆行路の作成にあたっては、列車ダイヤの設定を勘案し、総合的に判断した。
- ◆区所と検討し差し替え等も検討していく。

2. 平日35行路の明け場面の青出区を乗り継ぎ乗務とすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合

- ◆35分設定されているが、青出区のため、早めに出場しないといけない。実質30分を切っている現実である。青出区を乗り継ぎにすること。
- ◆延発のかけ方について、遅延回復のためなのか、均等にするためなのかを明らかにすること。

会 社

- ◆支社の提示は乗り継ぎだったが、2周を解消するために、現状のようになった。調整できれば検討していく。
- ◆お客さまのご利用状況が減ってピーク時間帯の本数が減って運転間隔が変わった。よって、延発のかけ方が変わった。

3. 平日48行路676G 池袋泊の緑出区について、折返し時間が29分に設定された理由を明らかにすること。また職場実態に合わせた必要な時間を確保すること。

回答:必要な折返し時間は確保している。

組 合

- ◆29分に設定された理由を明らかにすること。
- ◆緑出区の設定時間について明らかにすること。
- ◆実際には信号開通が発車の20分前であり、指導は信号開通の10分前に乗り込むとなっている。実質30分であり、1分足りていない。
- ◆足りない現実をどうするのか明らかにすること。

会 社

- ◆点検自体は29分のままだが、出区の時間(車輪の回転)が6分から4分変わった。よって、合算して29分になった。
- ◆所定の出区時間から本社から指定された時間を減算した時間である。
- ◆区の指導であれば、区の調整である。区の内規まで加味していない。
- ◆現場との話し合いになる。

その2へ続く



11月18日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ
東地申第20号

【大崎運輸区】団体交渉を行う!(その2)

【車掌】

1. 平日147行路・148行路での明け場を2周半とすること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し行路を作成している。

組 合

- ◆147行路・148行路は何周するのか明らかにすること。
- ◆現場では、9周はつらいという声が出ている。支社の認識を明らかにすること。
- ◆明けの便乗を内回りにすれば睡眠が増えるので、改善すること。

会 社

- ◆泊りで5.5周、明けで3.5周である。
- ◆明けに偏っている認識である。しかし解消すると日勤が6周に増えてしまう。区所と調整していく。
- ◆内回りにすると渡りが発生し、間合いを確保しなければいけない。安定性を確保するため、時間は変わらないと考える。

2. 平日143行路・144行路・145行路・149行路・150行路は平日5周の行路が休日だと6周になる為、休日の周回数については平日の周回数と同数とすること

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し行路を作成している。

組 合

- ◆休日105行路が欠行路になる理由を明らかにすること。
- ◆同じ行路数として乗務の中断時間を均等にすればいいと考える。
- ◆検討の余地はあるのか明らかにすること。

会 社

- ◆山手線は泊まりで350キロぐらいの乗務であり、日勤で170キロである。本数を勘案すると1行路減らすことが可能である。
- ◆列車本数で行路を作成している。休日は11時から16時台が一番本数が多い。1行路増えても難しい。
- ◆拡大していくのは難しい。

3. 平日102行路、104行路、休日103行路の休憩時間を均等に振り分けること。

回答:乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組 合

- ◆2周ないし3周の間に乗務の中断を30分以上設定すること。
- ◆食事の時間が遅いので、改善すること。

会 社

- ◆大崎のアンケートを見ているが、拘束時間に重きを置いている人が多数いる。しかし、可能な範囲で調整していく。
- ◆検討し、少しでも拡大できるように調整していく。

**会社の回答で「区所で調整する」と確認した以上、
職場でのコミュニケーションが非常に重要である！
安全で動きがいある職場をつくり出すためには、我々が声を出すことだ！**